

5 - 2 島根県周辺の地震活動について

Seismic Activity near Shimane Prefecture.

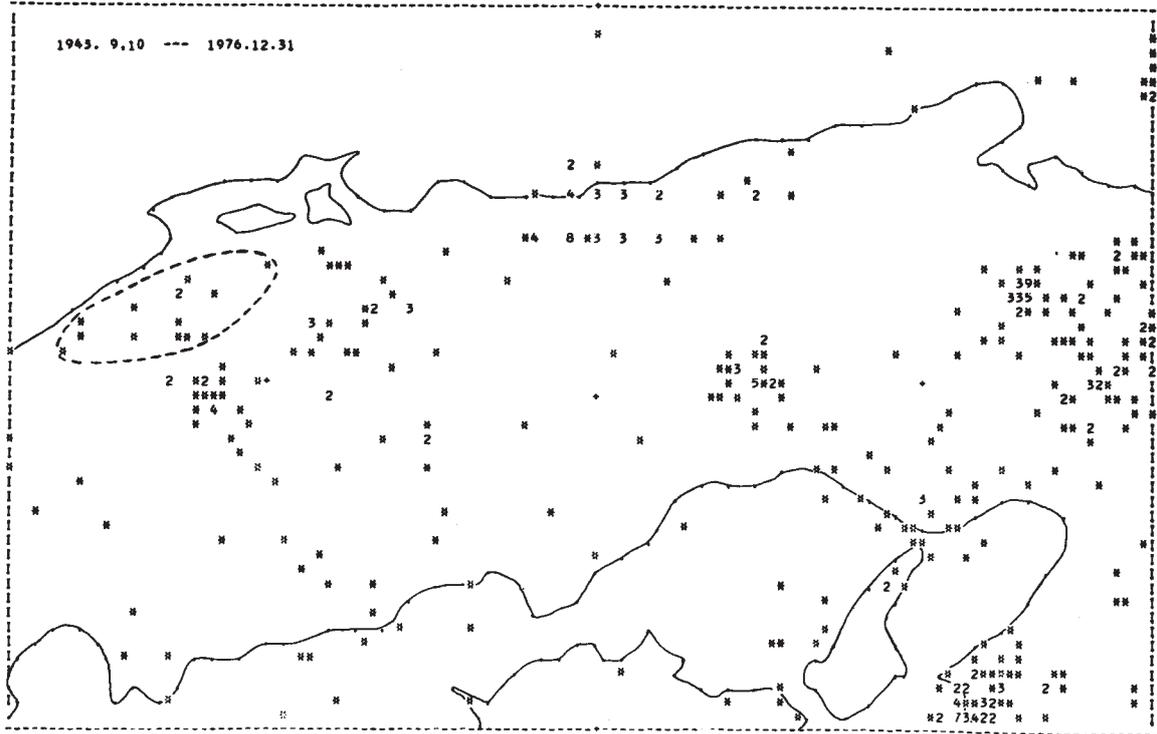
気象庁地震課 地震活動検測センター
SAMC, Seismological Division, Japan Meteorological Agency.

第1図は島根県を中心とした中国、四国地方の歴史的被害地震の分布であるが、現在のよう
な計測的地震観測資料が整備されて以後発生した日本海側の被害地震としては1943年の鳥取
地震がある。従って、島根県地方の地震を論ずるためには、鳥取地震の前に発生した地震を調
査しておくことも大切である。

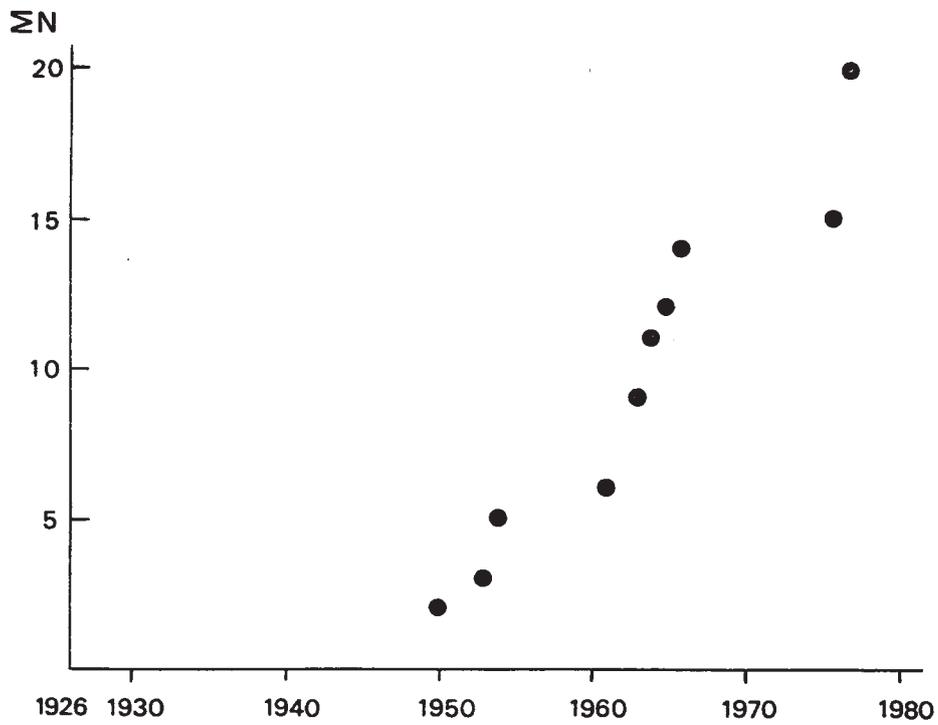
鳥取地震はまず1943年3月4日19時13分と、翌5日04時50分にそれぞれM6.1の地震
があり、その6か月後の1943年9月10日17時37分にM7.4の大地震が発生した、いわゆる
日本海側に発生しやすい二元地震である。

第2図はこのような見地から、1926年から1943年3月4日のM6.1の鳥取沖の地震の前日
までに発生した地震の震央分布図である。この図から島根県北東部の日本海側には地震がなく、
鳥取地震の震源域には1935年7月24日に発生した深さ10km、M5.4の地震が1つ震源決定さ
れているだけである。しかし、その周辺に地震が発生していない所をみると、この地震も重要
な意味をもつものと思われる。第3図は1943年3月4日以後9月9日までに発生した同地域の
震央分布図であるが、この間の中国地方の地震の発生は鳥取周辺にのみ集中している。第4図
は1943年9月10日の鳥取地震発生後1976年までの地震の発生分布であるが、鳥取地震の震
源域にはその後余震が多数発生していることと、第2図では地震の発生していなかった島根県
北東部にもかなり多数の地震が発生している。そして、1977年5月2日に発生したM5.3の
地震もこの領域内に発生した地震である。そこで第5図の点線で囲んだ領域内の地震の発生
の変化を調べてみると第6図となる。

880年に出雲地方に被害をもたらしたM7.4と推定されている地震の震央はつまびらかでは
ないが、第5図で示した周辺部は最近地震が発生しているが、出雲地方は依然として地震活動
の空白部となっている。



第5図 島根県北東部における1943年9月10日から1976年までの地震活動
 Fig. 5 Seismic activity in the northeastern part of Shimane Prefecture from September 10, 1943 to 1976.



第6図 島根県北東部における地震活動の変化
 Fig. 6 Variation of seismic activity in the northeastern part of Shimane Prefecture.